

2018年11月13日
東海旅客鉄道株式会社

浜松工場における新幹線車両の入換中の踏切支障について

1. 発生日 2018年11月13日(火)
2. 場所 浜松工場 引上線
(住所 静岡県浜松市中区南伊場町)
3. 概況
 - ・浜松工場で新幹線車両(8両)の入換作業に伴い、10時35分から、市道 南伊場森田1号線の西伊場第一踏切(第一種・遮断機・警報機付き)を遮断しました。10時37分頃、車両が踏切を通過中に、新幹線車両を牽引する専用車両(以下、入換動車)が故障により走行できない状態となったため、別の入換動車を用いて車両を移動させ、10時52分頃に踏切の遮断を解消しました。
 - ・その後、次の入換作業のため、11時44分頃に同踏切を遮断し、故障から復帰した入換動車を用いて作業を開始したところ、11時47分頃に入換動車が再度走行できない状態となったため、同様に別の入換動車を用いて車両を移動させ、12時00分頃に踏切の遮断を解消しました。
 - ・この影響で、10時35分頃から10時52分頃の約17分間と11時44分頃から12時00分頃の約16分間、踏切が一時通行止めとなりました。

※今回の入換作業による踏切遮断時間は約5分(各回)の予定でした。
4. 影響
 - ・けが人等は発生していません。
 - ・営業列車への遅れ等の影響はありません。
5. 原因 入換動車が走行できない状態となった原因の詳細は、現在調査中です。